

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立児童センター	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	施設分類	子育て支援施設
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	利用料金制導入	なし（指定管理料のみ）
導入年月日	平成25年6月1日	指定回数	3回
施設設置目的	児童に健全な遊び場を提供し、もって児童の健康を増進し、豊かな情操をはぐくむ。また、相互援助活動を実施する中で、地域の子育て支援の向上を図り、地域活動支援、地域子育て世代の交流の場を提供することを目的とする。		
施設概要	・ふじみ野市立東児童センター ふじみ野市福岡1丁目2番5号フクトピア3階 延床面積934.59㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造 ・ふじみ野市立西児童センター ふじみ野市大井中央1丁目1番1号大井総合支所3階 延床面積987.55㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造		
管理運営の基本方針	児童福祉法等の関係法令を遵守し、十分に理解したうえで、利用者のニーズに対応した事業の充実、利用促進に努め、施設の効用を最大限に発揮し、利用者へのサービス向上を図る。また、地域の関係機関や団体と連携協力し、地域の実情を踏まえた施設運営に努め、遊びを与えるだけでなく、こどもとともに遊び、遊びを通じてこどもの生きる力を養う。		
指定管理者の主な業務	・健全な遊びの場を提供し、児童の集団及び個別指導を行い、遊具その他設備の利用により児童の体力増進を図る。 ・児童に関係のある組織、機関等との連絡に関する業務。 ・自主事業の実施。乳幼児及び児童の健全育成に必要な活動の実施。ファミリー・サポート・センター事業に関する業務。		

評価項目

- 【評価基準】 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	・子育て支援拠点として、親子の居場所作りや相談しやすい環境作りを日々意識し運営を行なった。 ・こども達の遊び、運動、交流、活動ができる環境を整え、自主性や創造力を発揮し自己肯定感を構築していけるよう支援した。 ・令和7年度実施計画に添った児童センター及びファミリー・サポート・センター事業を滞りなく実施した。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
子育て支援拠点	・子育て支援拠点として週3日、1日3時間以上の開設をした。 - 拠点日以外にも乳幼児事業を実施し、親子が安心して過ごせるよう積極的な声掛けや環境づくりに努めた。 - 拠点人数 東児童センター（火・木・金）156回 5,849人 乳幼児事業参加者数 4,346人 相談件数 30件 西児童センター（水・金・日）153回 7,082人 乳幼児事業参加者数 3,293人 相談件数 34件 ・父親も気軽に参加できる環境づくりを行い、保護者同士の交流の場を提供できた。 - 父親対象事業 東児童センター パパの輪 3回 40人 西児童センター 育児講座パパポケット 2回 14人 ・幼稚園・保育園を利用しているこどもたちが休日にイベントに参加できる環境を整えた。	
小学生・中学生・高校生の居場所づくり	・こどもと積極的に関わり、職員がこども達と一緒に遊ぶ時間を大切にすることで、一人ひとりと丁寧に向き合うことができた。 ・こどもの意見を取り入れた運動遊びを毎週土曜日に実施した。 - 東児童センター「こどもオリンピック」49回 481人 西児童センター「小学生タイム」51回 422人 ・東西児童センターで小学生掲示板、中学生掲示板、こども相談カードを利用することで、こどもたちが気軽に思いを伝えられる機会につながった。 ・中高生の利用は東児童センター5,916人、西児童センター4,559人で合計10,475人となった。 ・中高生が安心して過ごせる居場所づくりの一環として、「中高生スポーツタイム」を実施した。平日夕方17時から18時まで遊戯室を優先利用できる時間を設け、卓球・バドミントン・バスケットボールを楽しめる環境を整えた。 - また、土日については優先して利用できる対応を行った。 「中高生スポーツタイム」 東児童センター 2,129人 西児童センター 1,726人	
市・地域連携及び施設連携	・主管課と日頃から相談や報告を行いながら円滑な運営に努めた。 ・東西児童センター、ファミリー・サポート・センターは、複合施設の一つとして、他施設と協力した運営を行った。 ・更生保護女性会協力事業や小学生の施設見学、中学生の職場体験、大学生の施設実習、社会福祉協議会主催の初めてボランティアの受入れなど積極的に地域との連携に努めた。 ・上福岡七夕祭りの「竹飾り」に参加することで、地域の活性化に貢献した。こども達が書いた短冊を飾ることで七夕を楽しむことができた。 ・令和6年度・令和7年度 東児童センター 埼玉県児童館連絡協議会西部ブロック 監査 西児童センター 埼玉県児童館連絡協議会 監査 及び 西部ブロック 副会長 ・東児童センターは修繕工事に伴い関係各所と連携し、工事関係への協力及び利用者の安全に配慮した対応を心がけた。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	現預金残高は良好。前期に引き続き、売上高、利益ともに順調に推移。	3
その他特記事項		

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況		乳幼児（ファミサポ利用人数を含む）	28,880 人	28,303 人	98.6%	98.0%	
		小学生	41,905 人	36,150 人	88.2%	86.3%	
		中学生・高校生	10,900 人	10,475 人	98.8%	96.1%	
		大人（ファミサポ利用人数を含む）	31,790 人	31,944 人	100.2%	100.5%	
		計	113,475 人	106,872 人	95.3%	94.2%	
		（特記事項） 東児 幼児：13,578人（147人） 小学生：19,781人 中学生：5,916人 大人：15,353人（460人） 合計：54,628人 西児 幼児：14,725人（30人） 小学生：16,369人 中学生：4,559人 大人：16,591人（68人） 合計：52,244人 ※カッコ内はファミリー・サポート・センターの利用者数 ※東児童センター10月25日～ プレイヤード及び館内改修工事（プレイヤード使用不可に伴う利用者数への影響あり）					
事業 実施 内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定 事業	・ふじみ野市立児童センター条例第4条各号に規定する業務 （ア）児童の健全な遊びと居場所の提供 （イ）施設遊具等の利用による児童の体力増進に関する事業 ・小学生運動遊び 「小学生タイム」（西）「小学生ジャンプ」（西） 「こどもオリンピック」（東） 「バスケットシュート遊び」（東） （ウ）中高生の居場所づくり 自主学習等ができる環境の整備や、夏季7月、8月に10日間以上（夜間等）居場所としての開放 中高生の要望に応じた事業の企画立案できる指導 ・「夜間開館」「スポーツタイム」 「中高生ボランティア」「中学生職場体験」 （エ）児童の健全な育成を目的とした講座、イベント、行事等の開催及び異世代交流等をする為の事業 ・専門講師による小学生対象事業 「絵画教室」「ヒップホップ教室」「書初め教室」 「バスケットボール教室」「習字教室」 ・制作事業 「遊びクラブ」（東）「先生とつくろう」（西） ・「チャレンジタイム」「チャレンジランキング」 「遊びシリーズ輪車、なわとび、こま」（東） 「交流プラザ事業への協力」（東） 「工作イベント」「まつり」「季節のイベント」 「毎月のぬりえと制作」「更生保護女性会伝承遊び」 「こども食堂協力事業」 「地域ボランティアの英語絵本の読み聞かせ」 「上福岡七夕まつりの竹飾り参加」 「上福岡図書館との交換事業」 「社会福祉協議会初めてボランティア体験の受け入れ」 （オ）児童の自主活動の支援 「こども運営委員会」「まつり実行委員会」 「キッズサポーター」「先生体験」 「小学生掲示板」「中高生掲示板」 （カ）児童の遊びと居場所づくりに関する情報収集および情報提供 ・児童センターだより ・子育て支援拠点だより ・小学生新聞 ・児童センターホームページ ・地域子育て支援拠点事業に関する業務 ・乳幼児事業「親子タイム」0歳1歳2歳 ・父親交流事業「パパの輪」（東） ・親子交流事業「ママの輪」（東）「スマイル」（西） ・毎月1回実施講座「育児講座」 ・「身長体重測定」「ダンス」「お話し」 ・ファミリー・サポート・センター事業 「サポートタイム」「提供会員交流会」「基礎講座」 「クリスマス交流会」「普通救命講習Ⅲ」 ・施設の利用に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関すること ・児童センター指定管理業務仕様書に記載する業務 ・埼玉県児童館連絡協議会総会、館長研修出席 埼玉県西部ブロック総会出席		追加 事業	東児童センター ・12月更生保護女性会イベント 「伝承遊び・ストローとんぼ遊び」 西児童センター ・1月更生保護女性会イベント 「大型玩具遊び・ストローとんぼ遊び」 ・地域連携事業社会福祉協議会 「うごくレゴブロック」		
					自主 事業	東児童センター ・遊びシリーズ「なわとび」「一輪車」「こま」 ※10月プレイヤード改修工事及び館内天井改修工事の為	
	自主 事業	東児童センター ・小学生対象事業「陶芸教室」 ・「教育実習生」「インターシップ」の受け入れ ・「バルーンアートに挑戦」		西児童センター ・シダックス学童事業本部連携事業「AI絵本作り」 ・「教育実習生」「インターシップ」の受け入れ ・「バルーンアートに挑戦」			
利用サービス 向上の取組		・窓口で貸出している玩具やカード類について、破損時には修理や必要に応じて購入を行うとともに、既存の物を別の遊びにも活用できるよう工夫し、新しいゲームづくりにも取り組んだ。（東児） ・利用者の衣類置き場の確保の為、冬期期間に洋服ラックを設置した。（西児） ・ファミリー・サポート・センター年2回の基礎講座は、6月に東児童センター、11月に西児童センターで実施した。					

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート 東児童センター及び西児童センター 6月児童100人 保護者100人 12月児童100人 保護者100人	
	(2) 調査、会議等の内容 【保護者対象アンケート】①住所 ②こどもの年齢 ③来館方法 ④利用頻度 ⑤情報の取得方法 ⑥利用した感想 ⑦来館した印象 ⑧職員の対応 ⑨⑩⑪ファミサポの認知度・預かり活動の認知度・提供会員活動への興味 ⑫参加行事の満足度と感想や要望 ⑬現在の利用方法について 【児童対象アンケート】①住所 ②学年 ③利用頻度 ④利用時の満足度 ⑤職員の対応 ⑥小学生向け事業の認知度 ⑦情報の取得方法 ⑧参加行事の満足度と感想や要望 ⑨置いてほしい玩具や参加希望の行事等	
	(3) 調査、会議等の結果 【保護者対象アンケート】 東児童センター ①市内在住 87.5% ③来館方法 車 61.5% ④利用頻度 月1～2回 44.5% ⑥利用した感想 満足・やや満足 98% ⑧職員の対応 満足・やや満足 98.5% ⑨ファミリー・サポート・センターの認知度 知っている 84.5% 西児童センター ①市内在住 86% ③来館方法 車 61% ④利用頻度 月1～2回 53% ⑥利用した感想 満足・やや満足 97% ⑧職員の対応 満足・やや満足 97% ⑨ファミリー・サポート・センターの認知度 知っている 76% 【児童対象アンケート】 東児童センター ①市内在住 86.5% ②利用児童 小学生 82.5% 中学生 17% 高校生 0.5% ④利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 94.5% ⑤先生の対応 良い 80.5% 西児童センター ①市内在住 92% ②利用児童 小学生 81.5% 中学生 17.5% 高校生 1% ④利用した感想 とても楽しかった・楽しかった 92% ⑤先生の対応 良い 78%	
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価 東児童センター ①家が近いので、いつも気軽に利用できてイオンタウンにも流れて食事や買い物ができるので助かっている。 職員が元気で優しく声をかけてくれたので癒されている。(保護者) ②先生が優しく、一緒に遊んでくれたり、困ったときに励ましてくれる。(児童) 西児童センター ①家や学校とは違う第3の居場所があることが子どもにとって意義のある支えのようなものになっている。(保護者) ②小学生タイムは他学年や他校と関わって楽しかった。(児童)	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 東児童センター ・写真が撮れないのが不便だ。他の人は入らないように配慮するとかSNSには投稿しない条件で許可してもらいたい。 ・毎日なんらかの事業で遊戯室を使用していることが多い。空いているときを把握するのが大変。 西児童センター ・小学生しか遊べない玩具があるのがもったいない。5～6歳でも十分に遊べる玩具もある。 ファミリー・サポート・センター ・ガソリン代や食事代について、物価高騰による負担が大きい。(提供会員) ・提供会員が増えていない中、長時間預かりや複数日預かり等で一人にかかる負担が大きくなっている。 《対応措置》 東児童センター ・携帯利用について、引き続きご遠慮いただくよう丁寧に伝えた。 ・遊戯室での予約事業を減らし、当日参加を増やした。 西児童センター ・玩具の対象年齢を参考に貸出区分を決めているが、安全面等を確認し幅広い年齢へ貸し出せるよう柔軟な対応をした。 ファミリー・サポート・センター ・近隣のファミサポ事情などもお伝えし、地域で支えるボランティア活動であることをご理解いただけるよう伝えた。 ・二市一町会議やファミサポ研修会等でも毎年課題に上がる内容であるため、今後も提供会員確保に努める。	

5 事業収支					(単位：円)					評価
①指定管理 業務事業収支	指定管理者収支（ 令和7年度 ）				市の収支					
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算		令和6年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料		施設使用料	
事業収入		100,000	事業収入	32,000	行政財産使用料			行政財産使用料		
指定管理料		62,739,000	指定管理料	63,182,737	国庫支出金		2,025,000	国庫支出金	2,101,000	
雑入		0	雑入	0	県支出金		2,025,000	県支出金	2,101,000	
自主事業からの充当		10,000	自主事業からの充当	0	その他			その他		
計		62,849,000	計	63,214,737	計		4,050,000	計	4,202,000	
支出	人件費	47,881,000	人件費	47,058,783	歳出	修繕料		修繕料		
	消耗品費	1,510,000	消耗品費	1,900,101		保険料		保険料		
	光熱水費	4,196,000	光熱水費	4,621,088		指定管理料	63,182,737	指定管理料	62,904,238	
	委託料	240,000	委託料	1,046,428		業務委託料		業務委託料		
	賃借料	40,000	賃借料	1,294,719		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料		
	通信費	540,000	通信費	505,581		その他	48,335	その他	43,943	
	保険料	1,100,000	保険料	874,900						
	修繕費	1,000,000	修繕費	55,000						
	事業費（市指定事業）	0	事業費（市指定事業）	32,000						
	公租公課	0	公租公課	0						
	一般管理費（本社経費等）	6,342,000	一般管理費（本社経費等）	2,026,000						
	計	62,849,000	計	59,414,600		計	63,231,072	計	62,948,181	
収支	0		3,800,137		差引	△ 59,181,072		△ 58,746,181		
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金		支出	0						
③最終収支（①－②）	収支	0		3,800,137						
●自主事業収支	自主事業収支	収入	100,000	収入						0
		支出	90,000	支出	0					
		自主事業収支	10,000	自主事業収支	0					
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								79.2%	
	事業収支における経営分析			物価高騰により、消耗品費・委託費に大幅に影響が出たが、一般管理費の削減、修繕費を抑えることができず、黒字となった。						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			指定管理期間にエリアマネージャー2名体制から1名体制にする事により経費等を抑えた事が要因。						

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

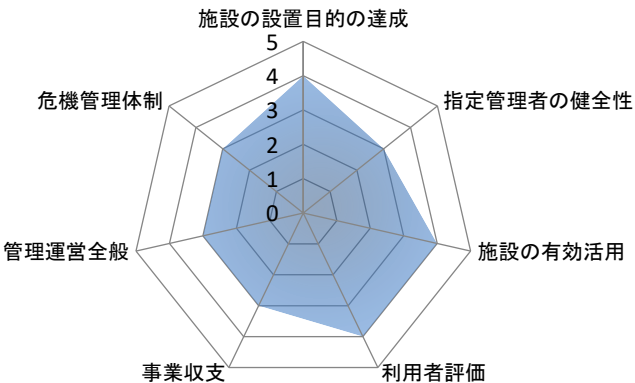
区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	平日5名以上、土日6名以上、学校休業期間中の平日7人以上 （統括責任者たる所長及び副所長含む）		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実にされたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項				

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	施設の設置目的の達成	4	B		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	4			
	利用者評価	4			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
評価理由		・乳幼児から保護者まで、また地域の方々も交えた幅広い層をカバーする様々な事業展開により施設設置目的を達成したことに加え、「親子・子育て」にも貢献することができたため。 ・中高生の利用に関して、平日の「スポーツタイム」に加え、土日の「優先タイム」を設ける等して、利用のニーズに沿った運営を実施したとともに、一人ひとりへの声かけや気配り等による関係構築の継続により、子どもが過ごしやすい居場所づくりに貢献したため。 ・利用者（児童・保護者）アンケートにおいて、利用した感想における「満足」と「やや満足」の合計が、東児童センターでは98%（前年96%）、西児童センターでは97%（前年95%）と非常に高水準であることから、利用者からの支持を得られていることが分かるため。			
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項		実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	①児童に対して相談ポスターを館内に掲示し、悩みを気軽に相談できる環境を整備する。 ②事業内容の検討や作業の効率化に取り組み、職員の負担軽減に努める。		①館内に相談ポスターとカードを設置し、いつでも相談できる体制を整えた。 ②体調不良や退職による職員不足の際は放課後児童クラブや、駒西子育てサロン、西児童センターへ応援要請をし定数を維持した。	・子ども性暴力防止法施行に伴い全職員研修を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努める。 ・多様な悩みを抱える子どもたちの居場所「水曜日のアトリエ」を開始する。 ・子どもの意見を広く取り入れるため、子ども会議を実施する。	

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価	
①サービス向上に向けての取組	
・定期的に送られてくる社内ツールを使用した遊びや制作を利用し、季節の行事を盛り上げた。また、シダックス企業連携事業「AI絵本作成」を実施。 ・放課後デイサービスなどのグループ利用について理解をし、玩具や部屋の利用について緩和した対応を心がけた。 ・年2回の利用者アンケートをもとに、子どもや保護者の声に寄り添った事業展開や運営に努めた。 ・上福岡図書館や社会福祉協議会などの関係機関と連携して、育児講座や全来館者を対象とした体験イベントを実施。	
②業務の効率化に対する取組	
・一部事業では前年度の内容を活用しつつ、コンセプトを工夫することで準備負担を抑えながら実施内容の充実に努めることができた。 ・反省会や事業報告の方法を見直し、要点を絞った共有や記録の簡略化を行うことで業務の効率化に努めた。 ・業務を分担することで、一人ひとりの負担軽減につなげることができた。	
③その他	
・夕焼け放送（4月～9月は17時・10月～3月は16時半）に合わせて児童へ声かけをし、安全に帰宅できるよう促した。帰宅時は施設前でこどもの安全指導を行った。 ・埼玉県児童館連絡協議会の役員として、役員会及び館長研修に出席した。役員担当して与えられた職務を滞りなく遂行した。 ・東児童センターでは工事期間中に伴い安全の確保に努めながら円滑な運営を行った。	
(2) 管理業務実施上の課題	
・施設の外観の変化や屋外プレイヤード使用不可及び、塗装による臭いの発生が利用者数減少の一因になったと考えられる。（東児） ・近隣施設でイベントが開催された際は、駐車場が満車になる状況が多く見られ、西児童センターが混雑している印象を与えられていた。（西児） ・子育て世帯を取り巻く経済状況が変化するなか物価や燃料費の上昇に伴い提供会員から活動時の交通費負担や食事代の負担に関する声が聞かれた。（ファミリー・サポート・センター）	
(3) 次年度以降の取組	
・多様な悩みを抱える子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりとしてサードプレイスを6月より開始する。 「水曜日のアトリエ」と題し、各館の開放日がわかりやすいよう年間カレンダーを作成する。 ・子どもの意見を幅広く拾い上げるため、年3回「子ども会議」を実施する。中高生が得意分野を発表できる場を提供するとともに、企画運営にも主体的に関われるよう取り組んでいく。	